

学校評価アンケート結果から

— 令和4年度 後期 —

小規模特認校として2年目を迎える山王小学校の教育活動について、アンケートへの回答にご協力いただきありがとうございました。今年度は、取手市立小中学校ではじめてコミュニティスクールを発足させました。今後は、コミュニティスクール（学校運営協議会）においてもさらに共に考え行動し評価しながら、「みんなでつくろう 笑顔あふれる山王小」をつくりあげていきたいと思っています。

【課題】

- (1) 読書活動への取組に関して「取り組んでいる（とてもよくあてはまる・だいたいあてはまる）」と回答した割合が、本アンケートで最も低い数値（児童：86.2%、保護者：70.5%）は前回と同じでした。しかし、児童の肯定的な回答の割合は3.8（前回82.5%）ポイント上昇しました。

《考えられる原因・要因》

寒い季節になり、教室で読書に親しむ機会が増えたこと、読み聞かせや「心からみんなに進め一冊」事業に取り組んだこと等が児童の肯定的回答が上昇した要因と考えます。一方で、家庭で読書に親しむような習慣づけは、今後の課題のひとつといえます。

《今後の改善策》

次年度以降は、学校図書館で貸出する本を、家庭でも親しむことができるような環境づくりを進めていきたいと思っています。

- (2) 児童の体力の向上について、保護者の肯定的な回答が、前回同様、低値（保護者 70.5%）となりました。学校運営協議会（コミュニティスクールの役員会議）では、今般の児童を取り巻く環境（感染症の拡大や悪質な事件や事故）を考えると、家庭では外で遊ばせることを躊躇してしまうという保護者の方のご意見いただきました。

《考えられる原因・要因》 児童が運動に親しむ場として、学校が貴重な場となっている。

《今後の改善策》

これまで以上に行事や縦割り班活動などを充実させ、楽しみながら運動に親しむ機会を意図的につくっていきます。また、家庭でもできる簡単な運動なども、紹介していきたいと思っています。

【今後も継続していきたい点】

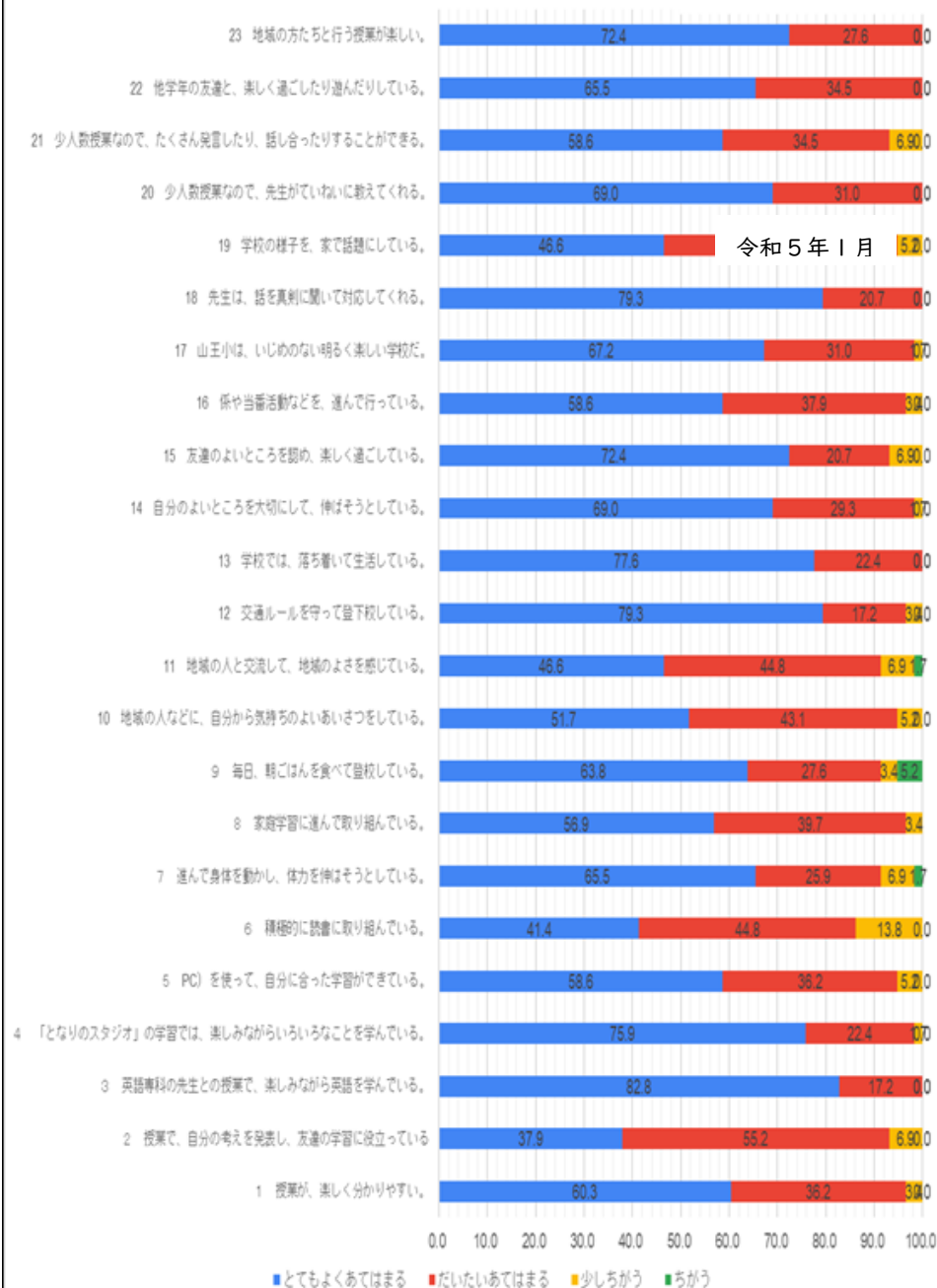
- (1) 「他学年の児童と仲よくしている」と肯定的に回答した児童の割合が100%で、前回より8.8ポイント上昇（児童 91.2→100.0%）し、最も高い伸び率となりました。2つのグループに分けて熱心に練習を積み競い合った「長なわとび大会」が、児童の連帯感や所属感を高めたひとつの要因だと考えます。

今後も、児童も教職員も名前呼び合える山王小らしいよりよい人間関係づくりを大切にしていきます。

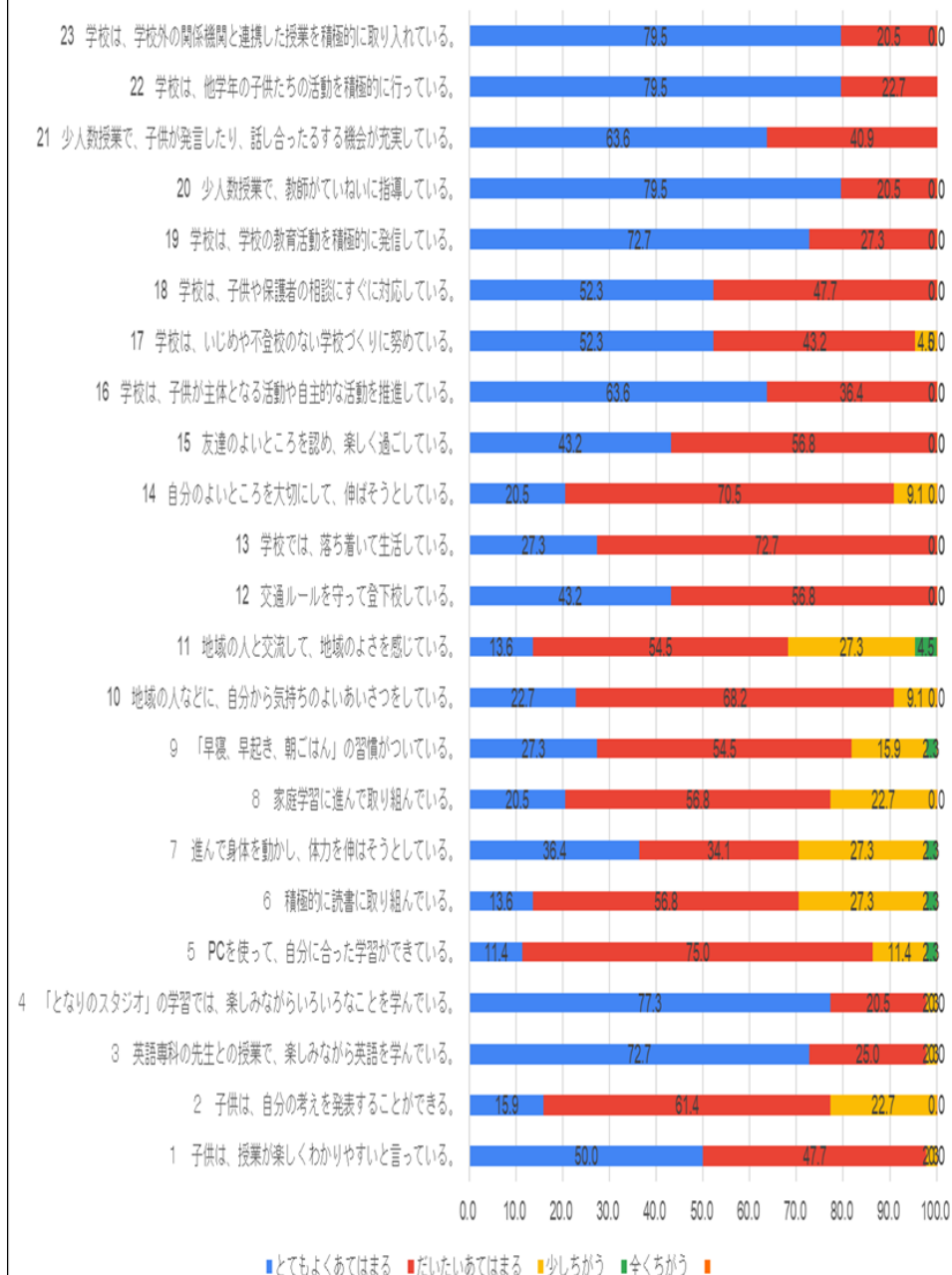
- (2) 小規模特認校としての教育活動について調査では、児童以上に保護者の皆様が、本校の特色ある教育活動（5つの取組）を肯定的に評価いただいていることが分かりました（保護者：全教育活動が60%以上の肯定的な評価）。コミュニティスクールをさらに発展させ、保護者の皆様、地域の皆様にも教育活動に参画していただき児童を共に育む体制づくりを行っていきます。

- (3) 交通ルールを守っていると回答した児童・保護者も90%以上と今回も高い評価でした。今年度から、「広域パトロール」として、児童が校区外から通学している保護者の方々にも防犯パトロールをお願いしているところです。今年度も、登下校中だけでなく、児童が大きな事故やけがに見舞われることなく安全に生活することができるのは、保護者の皆様や地域の方々のあたたかい見守りのおかげです。心から感謝申し上げます。

学校評価アンケート（児童） (%) 令和5年1月



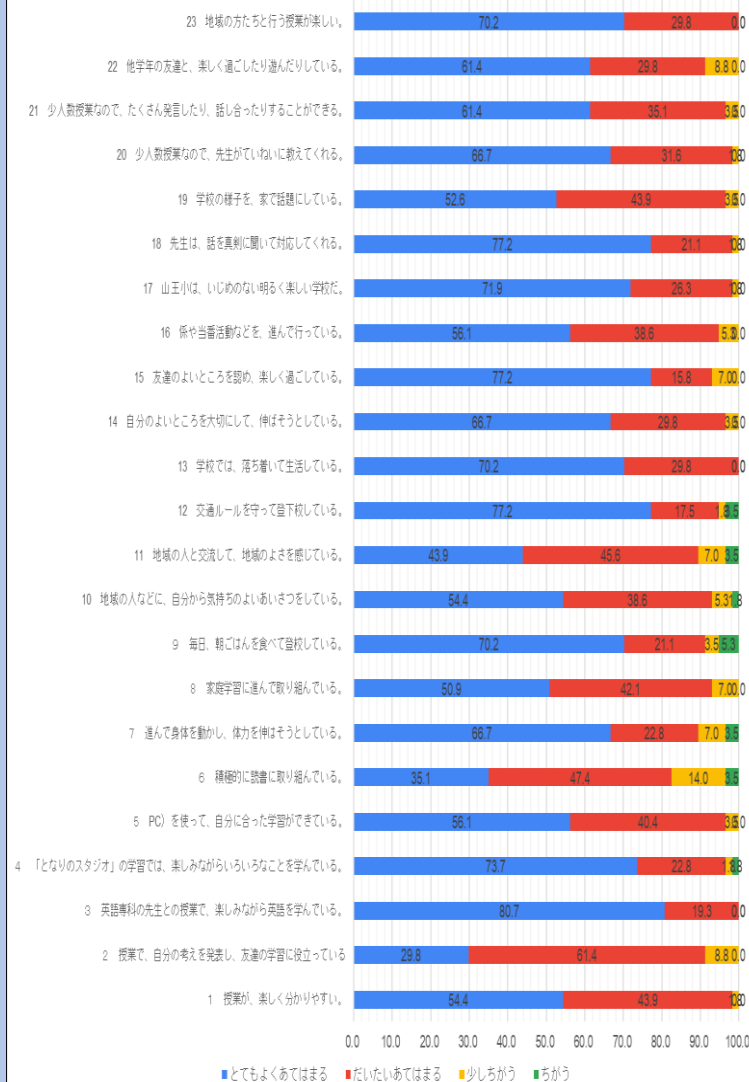
学校評価アンケート（保護者） (%)



前回の結果との比較 【児童】

令和4年7月

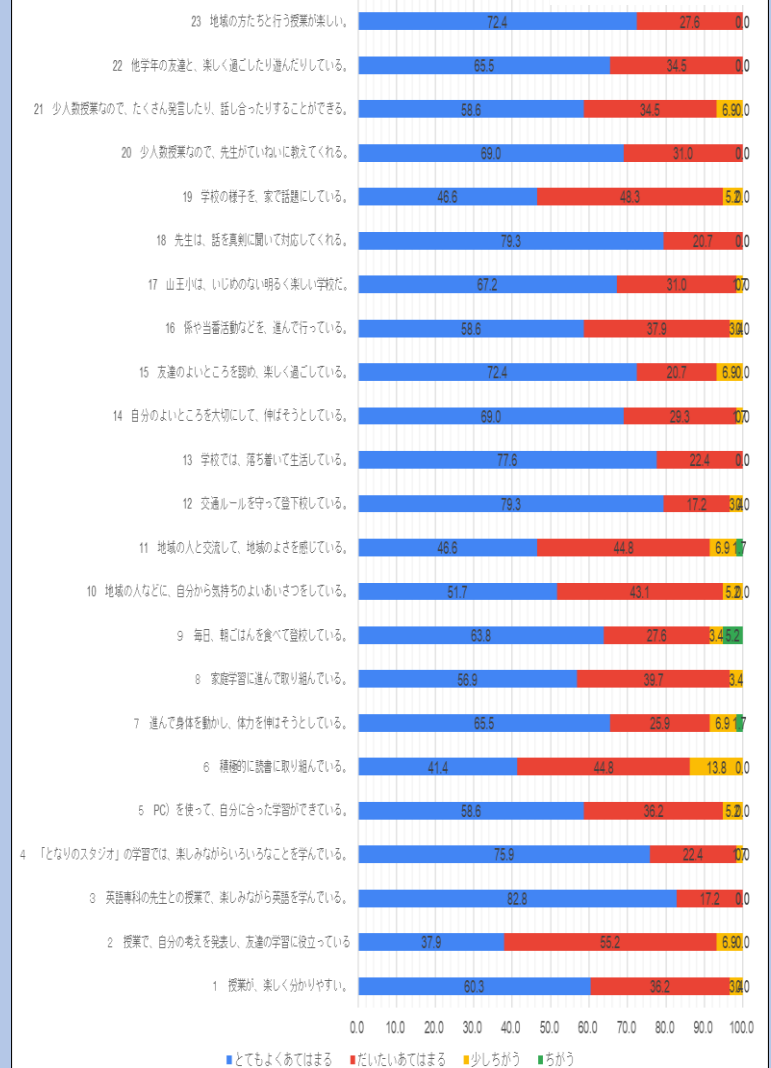
学校評価アンケート（児童）（%）



令和5年1月

学校評価アンケート（児童）（%）

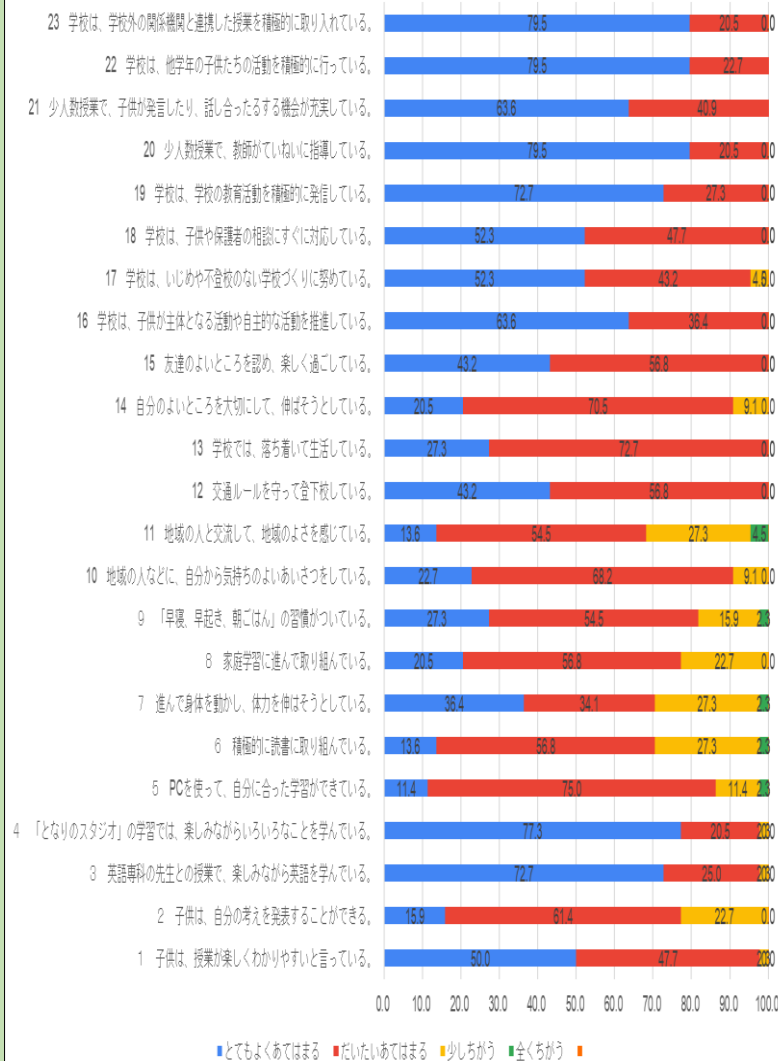
令和5年1月



前回の結果との比較 【保護者】

令和4年7月

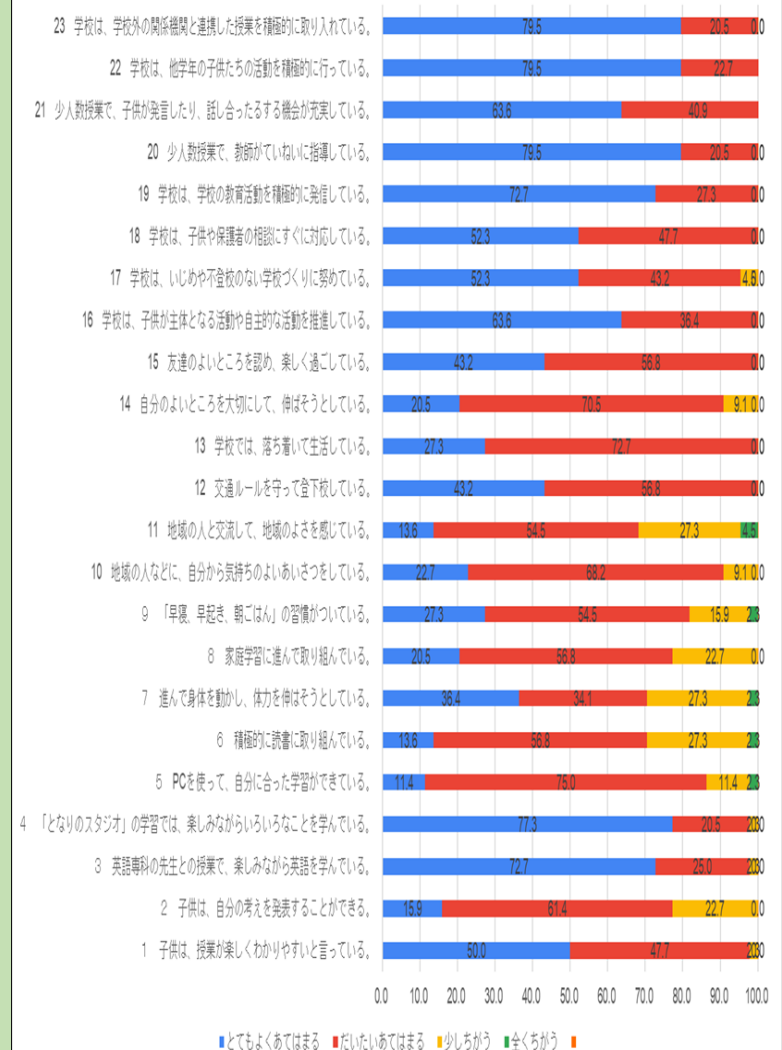
学校評価アンケート（保護者）（%）



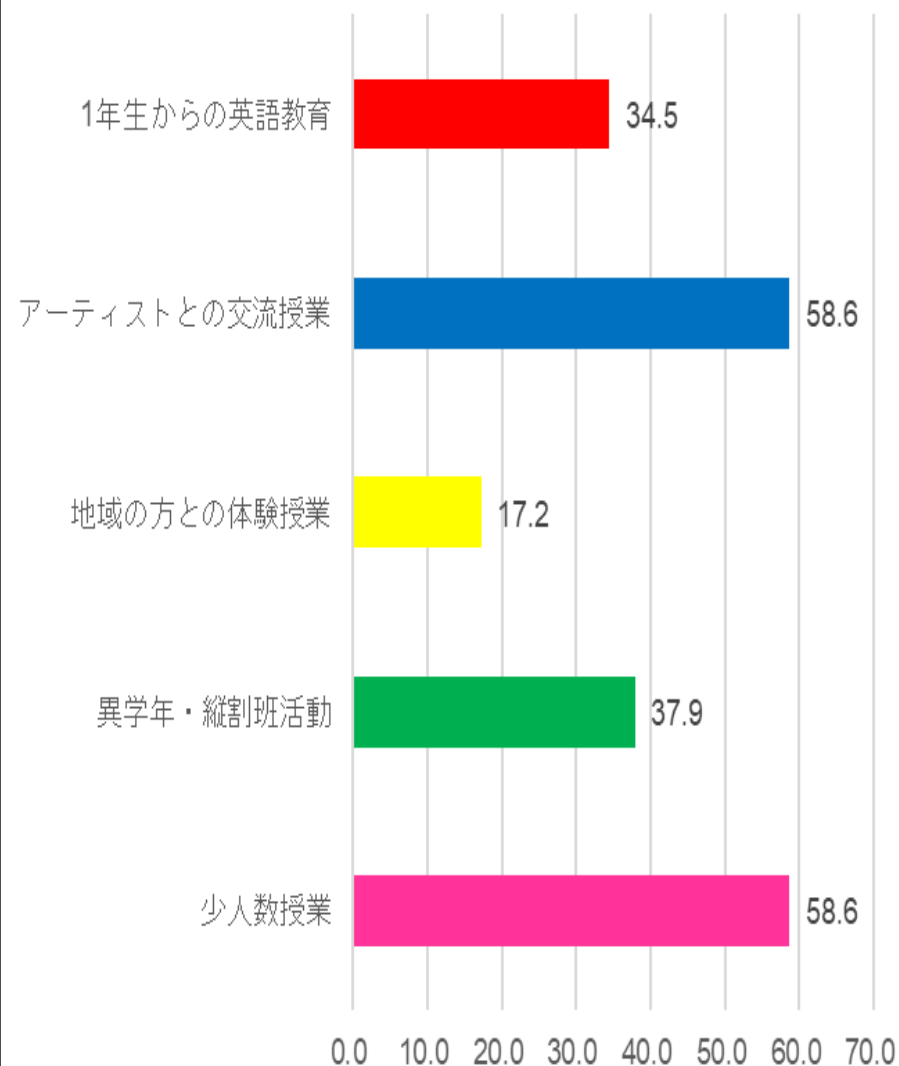
令和5年1月

学校評価アンケート（保護者）（%）

令和5年1月



山王小の特色（児童）（%）



山王小の特色（保護者）（%）

